



運動会演技

わが校 自慢 学校の広場

～白岡中学校～



朝のあいさつ運動

落ち着いた校風と
主体的な生徒の活動

本校は、平成2年篠津中より分離開校し、今年で14年目を迎えます。本校の特徴的な教育目標「誠」「明」「健」は諸橋轅次氏著書の古典の叢知「誠明健」からの出典であり開校当時の本校に寄せる熱い思いが伝わってきます。

本校の特色は、何よりも、この教育目標のもと、意欲的な礼儀正しく落ち着いた生徒が育っていることです。

そして、それを支えてきたのが、日々の授業はもとより主体的な生徒の活動です。一例を挙げますと

生徒会中心による挨拶運動

生徒会役員の生徒を中心に朝の挨拶運動を展開しています。

全力で取り組む学校行事

運動会、文化祭、持久走大会などの学校行事では、生徒一人ひとりが全力で取り組んでいます。終わった後の満足感が成長につながっているのです。

全員参加の部活動

本校では原則として全員参加の部活動を展開しており、生徒の成長に大きな役割を果たしています。

その他にも縦割り学習グループによる総合的な学習の時間など、全学年がともに活動する場を数多く設けているため伝統が引き継がれ、落ち着いた校風が培われているのです。



矢じりは、古くから知られる遺物で、「矢の根石」などと呼ばれてきました。

矢じり

縄文時代の幕開けは土器の登場に象徴されますが、弓矢の発明も縄文時代の到来を定義する重要な要素です。氷河期の終焉とともに去った大型獣に代わり、俊敏な小型獣を狙わざるを得なくなって考案されたとも考えられますが、飛び道具である弓矢の発明によって、狩猟の安全性が格段に向上し、狩りの対象となる動物の幅が広がったことは確かでしょう。

矢じりは、黒曜石やチャートなどのガラス質の石材を用いています。火山ガラスである黒曜石は産地が限定されています。もちろん白岡町周辺では採れません。八ヶ岳、那須、天城、神津島などから交易によって入手したものと思われます。

ふるさと
白岡紀行

